

くらわわにしに報店

NO.711





特集

森を音にする人たち

旧影石小学校の理科室に
 一歩踏み入れると、木の良
 い香りと一緒に、木の風鈴
 の「カラコロ」という優し
 い音色が聞こえてきます。
 たくさんの木材と、その木
 材から生み出された楽器達
 に囲まれて、楽器作りをさ
 れているのはMori no Oto
 のみなさん。ひとつひとつ
 を手作業で丁寧に仕上げら
 れています。

西栗倉村の森林への取組に
 共感され、この村で、この村
 の木で楽器をつくり、音楽の
 楽しさをたくさんの人々へ
 広げるために活動されてい
 ます。今回は代表の石川照男
 さんに「森と音」の関係性や、
 楽器づくりのおもしろさ、ま
 たそれらを通して伝えたいこ
 とをお聞きしました。

森を音にする人たち

表紙の人

mori no oto

石川 照男さん
 Teruo Ishikawa



目次

特集

森を音にする人たち

3
 1
 6

議会だより

7
 1
 10

あわくら会館

12
 1
 13

にしあわくらっ子

14
 1
 15

村からのお知らせ

16
 1
 29

社協だより

30

その他

31

楽器づくりのおもしろさ

石川照男さん（以下敬称略）

元々音楽は趣味で高校時代からバンドを組んでいました。大学ではアメリカ民謡研究会に所属して、京都の大学だったこともあり、音楽活動がそれぞれに盛んでした。そこではアメリカンフォークソングがメインで音楽に携わっていました。

前職は大阪に本社を置く家電メーカーで家電の外観デザイン、形や色とかそういうものを作り出す部署に30年余り勤めていました。会社勤めになってサラリーマンに徹していた時代が長かったですが、58歳の時に早期退職し、友人達も同じような年齢で初心に返ってバンドをやろうと言い合

い、音楽に対する気持ちに再度火が付いたんです。同時に新しいビジネスをしたという気持ちもありました。何らかの社会的問題を解決するソーシャルビジネス立ち上げの講座で、ビジネスを継続させるために運営するにはどうするかなどを各個人が集まってグループワークをしながらひとつのテーマを膨らましていくような活動に参加していました。

そんな中、音楽が好きだったのでバイオリンを作る工房に弟子入りをしました。そこで初めて楽器作りに出会って、それがおもしろかったんです。楽器は楽器店でたくさんのお金を払って買う物という意識があり、自分で作れるものじゃないと思っていました。バイオリンって手仕事が多くて手でコツコツ作るというのがおもしろいんで

すよね。当時は「楽器づくり」の楽しさをみんなに広げていくことと「ソーシャルビジネス」が結びつかないかなと必死に考えてました。

西栗倉村との出会い

石川 元々デザインの仕事をしていたのでそれを活かして、もっと誰にでも簡単にできる楽器を自分で設計して、自分でウクレレを作るワークショップを大阪の工房を借りて始めました。これを中心に自分のビジネスにしていこうとしていたときに出会ったのが西栗倉村でした。他のプロジェクトをしている知人が西栗倉村に行くというので同行したのがきっかけです。西栗倉村の「百年の森林構想」のことを知って、この木を使って自分の楽器を作

れるのがいいなと思い、ヒノキを提供してもらいました。ワークショップを行っていた大阪では国産の木材を仕入れるのは高く付くし、そもそも工業デザイン出身だったので木の事を勉強したい、ならば森へ近づこうということで西栗倉村への移住を決意しました。

木材の質は間伐材を利用していることもあって節が多かったりするんですが、森の学校さんの乾燥させる技術などが



整備されているので比較的安定して材料は購入できているのでありがたいです。そもそも単独ではできないようなことも西栗倉村と岡山県内の企業とのネットワークができています。ものすごく有利だなと感じます。

森を音に変える

石川 ここまで木を使って

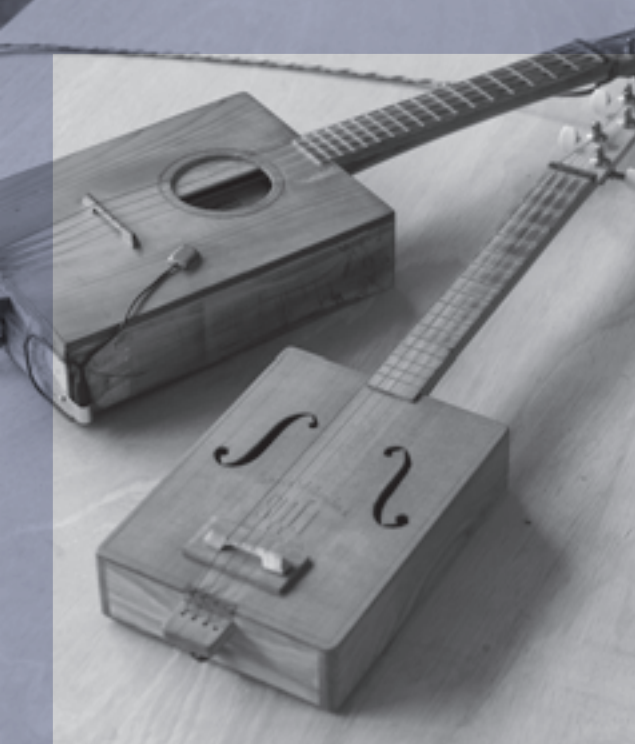
楽器作りを続ける理由は、木と音の可能性があるからです。時々アイデアが夢を見ているような感じで出てくるので朝起きたらスケッチにまとめておいたりします。スケッチが形になるといろいろな音がでますし、おもしろい。木で音楽を楽しむというのは楽器の原点だと思うんです。もともとは合図をするだとか、意思を伝えるコミュニケーションの方法の一つだったかもし

れません。今も楽器は進歩しています。値段も凄く高いですし。しかし、YONOONOはそれを逆流して楽器や木の音など原点に向かっているという取組が現代では新鮮に捉えてもらっていると思います。今後は、「森を音に変える」という筋は変えずに自分達でつくった楽器で音楽を楽しむというところを伸ばしたいです。そしてその楽しさをみんなと共有する場をつくりたい。

楽器というものをつくるということから、「作る体験」を提供するところから更に発展させて、音楽を通じて人と人が繋がるような事業に展開させたいです。

子ども達の笑顔を想像して

取材中、石川さんのアイディアノートを見せていただ



会
議
だ
よ
り

定例議会 令和4年6月

村長 所信

「脱炭素先行モデル地域選定」

去る6月1日、「脱炭素先行地域選定証授与式」が東京で開催され、山口壮環境大臣より選定証が授与されました。これは

2050年のカーボンニュートラルに向けて、先行的な計画を持つ自治体を選定、2030年度までに実行することで「実行の脱炭素ドミノ」、つまり脱炭素に向けた連鎖、横展開を図るものです。

「環境モデル都市」、「バイオマス産業都市」、「SDGs未来都市」等、目標とする【食とエネルギーの自立】に向けた取り組みの一環としてこの「脱炭素

きました。スケッチブックの中には、石川さんの想う「森と音」を楽しむ空間や、またそこにいる子ども達の笑顔がたくさん描かれていました。

また、8月のイベントに向けて子ども達が川遊びに使用する水中眼鏡のデザインを実際にその場で考えながらスケッチしてくださいました。

「パソコンとかCGでデザインを考えるより実際に紙に書くのがいいんですよ」と頭の中で湧き出てくるイメージをスラスラと紙に描き出す石川さん。子ども達が実際に使う姿や、川の中にいる魚たちを発見して喜ぶ笑顔を想像して、できあがったデザイン画には、木を使って作られる水中眼鏡と、それを使って笑顔になっていく子ども達の様子が映し出されていました。

木材に付加価値を加えて違った何かを作り出す流れが主流になっているこの時代に

石川さんは「森を音に変える」という新しい視点で西栗倉村の木を音色と共にたくさんの人々へ届けられていました。今回取材協力いただいたMorimotoの工房での演奏を動画にしています。ぜひ左のQRコードから、ご覧ください。

演奏ムービー ▼



「デザインについて」
8月の晴天の深い青を基調に、鳴り響く音楽が窓から聞こえてくる楽しい風景をイメージしています。

文 西栗倉村広報係 宮脇
撮影・デザイン SANSAR

広報にしあわくらより

広報にしあわくらは「村の元気」をコンセプトに誌面を作成しています。こんな特集をしてほしいという方は村民掲示板へ投稿をお願いします！
村民の皆さんへ西栗倉村の情報と共に元気を届けられる広報誌でありたいと考えていますのでご協力よろしくお願いします。

先行地域モデル事業」を位置づけています。具体的には、CO2を再生可能エネルギー導入で実質換算値ゼロにすることが目標です。モデル自治体として他地域の模範となるよう取り組みを進めます。

4市村で、連携都市連絡会議等を設置し、旅行者や地域DMOと連携して普及を促進します。「デジタル田園都市国家構想」この構想は「新しい資本主義」の実現に向け、大都市の利便性や地方の豊かさを融合させた、利便性と魅力を備える新たな地方の姿「デジタル田園都市」の構築をめざしています。「仕事・交通・教育・医療」などの地域課題にデジタル技術を導入、実装することでさらなる高度化・加速化を図り、全ての人がデジタル化のメリットを享受できる心豊かな暮らしの実現が目標です。

不安定なエリアに新たな通信手段を導入し、山間地域での業務や移動経路の把握、また様々なデータの収集を可能にし、デジタル連携基盤の拡充で新たな森林価値の創出、多様な利活用への道を開くことが期待されます。

「広域連携SDGsモデル事業」広域連携によるスケールメリットを活かし、その全てを体感出来る「岡山県版SDGs体感ツアー」で、ウィズコロナ、アフターコロナにおける観光振興、規模や地域性に応じた様々な取り組みを体感。SDGsを「見える化」し、普及を図ることが目的です。県南からは岡山市・倉敷市、県北からは真庭市・西栗倉村の4未来都市が共同提案、採択されました。今後はこの

まず、最も大きな課題の一つであった電波の届かない山間部、

このように村は現在、多様な事業に取り組んでいます。今後にも常に地域の使命、役割、また存在価値を問い直し、新しい暮らしの創造やチャレンジを続けて参ります。地域課題を政治的課題と、受け身に回ることなく、主体性をもって自らの手で解決に挑む姿勢、これを矜持とし、さらなる村づくりに臨みたいと考えています。

6月定例議会 一般質問

※一般質問は内容を抜粋して掲載しています。



田中貞己議員

質問事項

村内の廃屋について

質問要旨

村内で廃屋の建物はどれだけあるのでしょうか。以前から気になっていましたが、危険で見た目も悪く、朽ちていくばかりです。村は、持ち主と協議等

されているのでしょうか。解体して土地を更地にする場合、ある程度村費を投入しても良いのではないかと思います。土地の所有者と前向きに話を進めてはいかがでしょうか。村の考えをお聞かせください。

答

榎原総務企画課長

村内には、いわゆる空き家と呼ばれるものが約90軒、その内廃屋と言われるものは16軒あると認識しています。

特に危険な建物をリストアップして建築士と巡回し、危険性が高いと判断したものについては、除去、撤去など、適正な管理を持ち主に依頼しています。また、相続人調査を行い、相続人リストを作成しています。このリストを基に相続人へ情報提供など行った結果、相続人による解体が進んだり、今後の検討が進められている状況です。

物件の管理は、第一義には所有者、相続者が行うべきものです。村費の

投入は、法的に相続人がいないなどのやむを得ない略式代執行のような場合に投入すべきであり、それ以外のことについては控えるべきと考えます。

答

青木村長

住居は、空き家になると急激に劣化が進み、その状況が長く続くと住居としては使えない利用価値の低い廃屋となってしまう。そうなると経済的な価値が失われ取り壊しや整理に多額の費用がかかり、負の遺産ともなってしまういかねません。

一方で、村内に新たな住居のための宅地を希望される方々が増える傾向にあります。この宅地不足を解消するための手段としては、廃屋の処理と土地の有効利用ではないかと考えます。

今後、所有者には管理という観点だけでなく、運用という観点からも助言を行っていく必要があると感じ

じます。住宅需要への対策（空き家利用のための改修）と捉えることができる場合には、促進策としての公的財源の投入もあり得ると考えます。

結

田中議員

私が言っている村費投入というのは、持ち主と話し合い、空き家を撤去して、その土地を村が譲り受けるような感じを願っているわけですが、村は宅地がないと言いますが、坂根に現在3か所の村所有の跡地があります。それには住宅を建てようとか、コンテナハウスを建てようとかという動きは見受けられません。

今後持ち主と協議していただき、見た目も悪いですし、危険ですから、早急に対応をお願いしたい。



福井正議員

質問事項

脱炭素先行地域づくり事業について

質問要旨

去る4月26日、環境省から脱炭素先行地域に、全国で26か所、岡山県では西栗倉村と真庭市が選定されました。この件に関しましては、テレビ、新聞等、マスコミにも多く取り上げられております。名譽なことであり、住民の関心事でもあります。私も環境省、西栗倉村ホームページ等で事業内容の確認をしておりませんが、普段耳にしない用語（ex. pPA・vPP・ZEB・ZEH）など、一度読めば理解できるものではないと思います。この事業内容と、西栗

倉村が選定されたということはどういうことなのか、住民に分かりやすく内容をかみ砕いて説明を求めたいと思います。

答

上山地方創生特任参事

脱炭素先行地域は、2050年に電力消費に伴う二酸化炭素排出量の実質ゼロを実現し、国の目標と整合する削減を、地域の特性に応じて実現する最初の基になるモデル地域です。これまで村が進めてきた百年の森林構想、環境モデル都市、SDGs未来都市の着実な取組が評価され、全国26地域の一つに選定されました。選定された地域は、計画実現に向けて、国の予算が重点的に認められ、西栗倉村は、5年間で約18億円規模の事業を予定しています。その内容は、あわくら会館、いきいきふれあいセンターや小・中学校、保育園、幼稚園などの公共施設9施設、それから林産物需要開発センター、新宿泊施設、道の駅など産業観光施設5施設、村営住宅54戸に太陽光発電施設と蓄電設

備計840kWと小型風力発電設備90kWを整備します。

また、学校や村営住宅の窓を断熱性の高いものに取り替えたり、照明をLEDに交換します。これら電気をつくることと省エネ化を進めることで、村の光熱水費を年間約4100万円程度削減できる見込みです。

問

福井議員

今回この質問を行ったのは、内閣府の調査によりますと、高齢者で行政情報習得にパソコン等を使用しない方は全国平均で17%、中山間地域で過疎化の当村に於いては、この数値はゆうに超えるものと思われます。当

村の高齢者は、500人以上です。脱炭素先行地域づくり事業について、パソコン等を使用しない高齢者の方にも理解しやすく、分かりやすい説明を求めた訳であります。太陽光パネルには有害物質、鉛・カドミウムを含み特に決められた方法にて廃棄する事が求められております。太陽光パネルは約30年間の耐用年数があるゆえに、パネルの廃棄に関して

の明確な指針が示されていません。私

が心配している事は、将来的に懸念される太陽光発電設備の大量放棄であります。ゼロ円ソーラーが民間企業先行で進行してきており、行政としては、この辺りの注意喚起はどのようにお考えでしょうか。

答

上山地方創生特任参事

広報については、8月号広報紙でイラストも含めた上で、なるべく分かりやすい形で今回の計画をお知らせする予定で、現在紙面の作成を進めているところです。

結

福井議員

再生可能エネルギーが入ってくると、新しい電気事業者も参入され、蓄電設備も当然入ってきます。村外へ出た資金がまた村内で循環するとか、雇用の創出等が出てくると思います。脱炭素先行地域に選定されたことをフル活用して、西栗倉村内でいろんなものが循環するように、あらゆる可能性を追求して頂きたい。



井上直美議員

質問事項

不法投棄防止及び防犯カメラの設置について

質問要旨

昨年秋頃、坂根ゲートボール場に不法投棄された問題がありました。大型家電や家庭の不用ごみが内容です。村の対応として、防犯カメラを年内に設置すると聞いております。坂根に限らず、各地区の分岐点となる道路に防犯及び監視カメラを設置する事が、様々な用途も視野に入れた対応ができると考えます。

答

萩原産業観光課長

各地区へのカメラ設置を検討して頂けないでしょうか。
又、令和2年から4年度の間「子供見守り防犯カメラ設置支援事業」が、岡山県で実施されています。是非この制度を利用して、主要部に防犯カメラを設置して頂きたいと考えております。
不法投棄防止のための監視カメラは、現在村内に5台設置しています。今年度も、昨年不法投棄が発生した坂根に1台設置する予定です。いずれも電池式で、動きに反応して自動で撮影するカメラで、年2回、定期的に電池とSDカードの交換を行っています。
こうしたカメラの画像は、不法投棄を発見した際、不法投棄を行った者を特定し、警察と連携して対応するための証拠資料として活用することもあります。

答

関教育長

岡山県子供見守り防犯カメラ設置支援事業は、通学路における子供を狙った犯罪等の防止を目的にした補助金事業で、有効な手段であると考えます。

西栗倉村では、毎年幼稚園、小学校、中学校のPTAがそれぞれに通学路の安全点検を行い、それを幼・小・中の連合会が取りまとめ、危険箇所の改善要望を村長宛てに提出しています。交通だけでなく、防犯危険箇所の視点でも点検することは大変大切だと思っています。

問

井上議員

村がカメラを設置するとなると、ポイントとなる箇所というのが大変難しくなっています。村の中でポイントとなる場所というところを村長はどのようにお考えでしょうか。

答

青木村長

防犯カメラの設置、危険防止の観点からいうと、あわくらんどの鳥取自動車道の出入り口。あと坂根志戸坂トンネル付近など、村への出入口でチェックできるのが有効と考えます。

結

井上議員

バイパスの降り口、坂根であったり、あわくらんど前であったりというところに最大ポイントとして村のカメラ設置は、防犯の意味でも、あと追跡の意味でも必要であると思います。住民のプライバシーなどを守りながら、実効性がある防犯カメラの設置運用の在り方を考えていくことが重要です。

カメラ設置の際には、運用する側がプライバシー保護に配慮したガイドラインを設け、住民の理解を得た上で、今後の設置を検討いただきたいと思います。

SDGs 未来都市にしあわくら 村の未来を創る、考える

村民向けSDGs講演会を開催いたしました

6月12日から19日にかけて、あわくら会館にてSDGs関連の展示や講演会を行いました。遠く感じていたSDGsであっても、身近にSDGsに寄与する行動が隠されており、実は、あわくら会館内にもSDGs的な仕掛けがある、という発見を今回の展示を通じお届けしました。また、展示をご覧いただいた約40人の方からも「とりあえず行動したい!」、「世界と同じ視点を持てた!」など率直な意見や思いを頂きましたので、次回以降の取り組みに活用させていただきます。

18日には、元NHK国際

放送局アナウンサーの山本

ミッシェル氏による講演会が開かれ、村外も含め多数の方々が参加されました。

講演の概要は以下の通りです。

1. ドイツでは、不要になったものを「Zuverschenken」(自由にお取りください)と張り紙をして、玄関に出し、欲しい人が自由に回収する仕組みがある
2. ドイツでは、ペットボトルをリサイクルすれば1本約20円返ってくる
3. 樹木の香りを10分間吸入すると、唾液中の免疫濃度が上昇する

ちなみに、講演していただいた山本さんは、西栗倉で一泊した後、疲労感のあった喉の痛みが解消し、3番目の効果を

第25話



実感されたそうです。

同様の展示を9月にも計画していますが、その際は今回と趣向を変え、全国の興味深い取り組みを展示することを検討しており、日々の生活に取り入れられるような取り組みを丁寧に紹介する予定です。あわくら会館にお立ち寄りの際は、ぜひ一度ご覧ください。

(地方創生推進室 萩森)





あわくら会館で「生きるを楽しむ」様子を紹介

【“片付けができる子”になるための講座】

子どもが片付けを自発的にするためには、わかりやすい目印と片づけを“遊び”にすることが必要です。そしてなにより大人の姿を子どもたちは良く見ています。親自身が自分の行動を振り返ることが大切だと感じました。

【“バドミントン”始めました！】

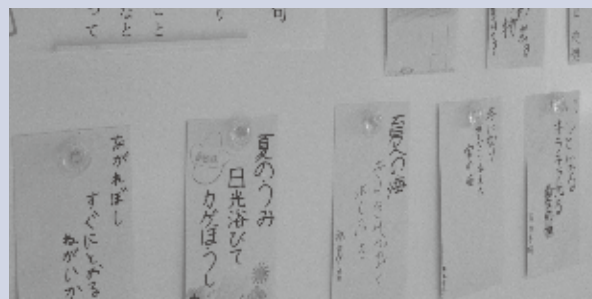
百森ひろばで大人気の卓球に、新しくバドミントンが仲間入りしました。ラケットと羽の貸し出しは図書館カウンターにて行っております。



「夏」を感じに図書館へ行こう！ —あわくら俳句教室から—

【小学五年生の俳句を展示しています】

1階のラウンジで、西栗倉小学校の五年生が読んだ俳句を展示しています。キラキラ、サクサク、ラグビーなど、子どもたちの思う季節の用語がたくさん出てきます。図書館で「夏」を感じませんか？



【あわくら俳句教室は毎月第三土曜日に開催中です】

乾北星先生のやさしく丁寧なご指導のもと、新しい方も増え、現在10名の参加者で賑わっています。また季節毎に詠んだ俳句は、東1の前の通路に掲示しています。

夏はどんな俳句を詠まれるのか、ぜひお立ち寄りの際はご覧ください。



図書館の新刊情報

一般書

『あるじなしとて』 天津佳之／著
『700人のむらがひとつのホテルに』 嶋田俊平／著
『まるごとレモン』 河井美歩／著

児童書

『目で見ることばで話をさせて』 アン・クレア・レゾット／作 横山和江／絵
『はじめての子どもパン教室』 吉永麻衣子／作
『ハチのテオ、おてつだいのレシピ』 香川照之／作 ロマン・トマ／絵



その他の新刊は、HP又は館内設置の図書検索システムをご覧ください。

■ ご利用案内

あわくら会館 西栗倉村影石33-1

開館時間 8:30～22:00

あわくら図書館(あわくら会館内)

開館時間 10:00～18:00

休館日：祝祭日、毎月最終月曜、年末年始
(8月11日、29日が休館日)

■ お問い合わせ先

あわくら会館・図書館 TEL:0868-79-2116

教育委員会事務局 TEL:0868-79-2216

お知らせ・蔵書検索はホームページをご覧ください。

■ あわくら会館・あわくら図書館の詳細はHPまたは館内に掲示したチラシ、Facebookページをご確認ください。参加費の明記がないものは無料です。

図書館では、『夏だ！実験祭りだ！』と称して実験に役立つ本を展示しています♪

村民講師企画と図書館の連携講座

「やまと森の知らない世界vol.13
～夏だ！実験祭りだ！葉っぱのホネを見てみよう～」
葉っぱの色を落とす実験をして、葉のホネ(葉脈)を観察してみましょう。葉っぱのホネでしおりも作ります。夏休み最後の日、自由研究を仕上げませんか？

■ 日時：8月28日(日)13:00～16:00

■ 講師：川上えりかさん、清水美波さん(ちぐさ研究室)

■ 参加費：500円/こども1人

■ 対象者：4歳から小学生(小学2年生以下は保護者同伴)

■ 申込み：8月26日(金)〆切

■ 場所：西のにわ1・2

■ 持ち物：飲み物、動きやすい服と靴



夏休みイベント開催！

「夏休み宿題お困り相談会～算数、国語、理科、社会、自由研究どんとこい！～」
宿題のお困りごとの相談にのります。

■ 日時：8月17日(水)10:00～17:00

■ 講師：福井博視さん

時間内であればフリー参加です！

放送大学岡山学習センター連携講座

「思い出の心理学」

思い出はかくも甘く切ない。皆が大切な思い出を抱えて生きています。でもなぜ思い出すのでしょうか？なんと、思い出を振り返ることに意味があったのです！初心者でも分かりやすい内容です。

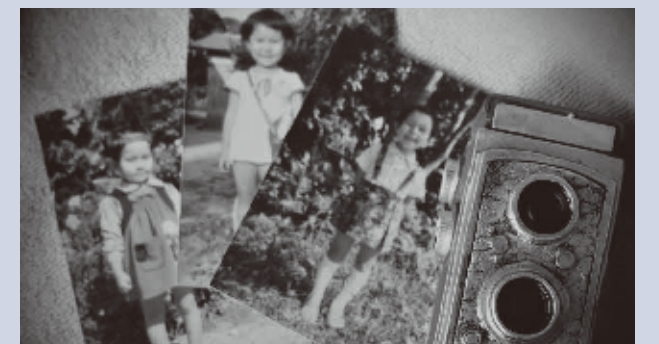
■ 日時：8月21日(日)13:30～15:30

■ 講師：堀内孝さん

(岡山大学大学院社会文化科学研究科教授)

■ 申込み：8月18日(木)〆切

当日参加も可能ですが、なるべくご予約ください。



定例のイベント

「あたまイキイキ音読教室」

■ 日時：8月10日(水)13:00～13:30

「あわくら俳句教室で俳句作りを学ぼう！」

■ 日時：8月20日(土)13:30～15:30

「Nestカフェ」

■ 日時：8月26日(金)17:00～19:00

「読み聞かせの日」

■ 日時：9月3日(土)11:00～11:30

保育園

七夕会を開催

願いが叶いますように

7月7日（木）に保育園では七夕会をしました。当日までに親子で一緒に七夕飾りの製作をし、短冊には願いごとを書いて、笹に親子で飾りつけをしていただきました。「毎日笑顔で過ごせますように」「家族みんながニコニコと元気に過ごせますように」と短冊にはたくさんさんの願いごとが書かれ、素敵な七夕飾りが会を盛り上げてくれました。

当日は、先生のハンドベルの演奏に合わせて「たなばたさま」や「キラキラ星」をうたったり、楽しいお話しや手遊びをして和やかで楽しい時間を過ごしました。

またこの日の給食も七夕メニューで『お星様の混ぜ寿司やオクラ（星形）のすまし汁』など給食でも美味しい七夕行事を楽しみました。これからも季節の行事を大切にしていきたいです。



沢歩きを体験！

7月1日（金）、ぞう組くま組うさぎ組の3クラス合同で大茅「若杉原生林」へ沢歩きに行きました。

子どもたちは、目で見て手で触れ自然の匂いや音を感じ、五感をめいっぱい使って沢歩きを楽しみました。歩きにくいところはボランティアの方々に助けてもらって行くことが出来ました。道中、自然ならではの丸太の橋を見つけ渡ってみる子どもたち。「滑ってこけんようにゆっくり行こう。」と声を掛け合いながらゆっくり慎重に丸太の橋を渡りました。渡った後には笑顔で「怖かったー」や「楽しかった！」との声が聞こえていました。川の冷たさに触れながら歩いたり上ったりしていると1匹の魚を発見。「他にもいるかも！」「探してみようや。」と石の裏や葉っぱの隙間を注意深く探しました。普段なかなか出来ない村ならではの体験をボラン



ティアの方々に支えてもらい全員怪我無く終えることが出来ました。子どもたちがとても大きく成長したように思える一日となりました。

幼稚園

小学校

ふるさと元気給食

先月号で、ふるさと西栗倉について、感じて、知って、発信していく「ふるさと元気学習」の紹介をしました。それに関連して取り組んでいるのが「ふるさと元気給食」です。地場産物を取り入れた給食で、地域の方々のご協力のおかげで、今年で11年目を迎えます。

子どもたちに「皆さんが知っているふるさと元気食材は？」と尋ねると、たくさんさんの食材名を答えてくれます。地域の食材と生産者の顔や名前も結びついており、ふるさとを身近に感じられています。また、ヤーコンやジビエ肉、いちごなど、新たな地域の食材を取り入れることもしています。

これからもこの「ふるさと元気給食」を通してふるさとの食材や生産者とふれあうことで、感謝の心を育て、ふるさと西栗倉を愛する心を育みたいと考えています。



一致団結!! 1年生関谷研修

6月3日に1年生は関谷学校の1日研修に行ってきました。今年の研修スローガンは、「一致団結、友情を深めて、いつでも信頼できる仲間になる」でした。

野外炊事では、慣れない薪をくべての調理に苦戦しながらも、班を超えて協力し合うことができました。飯ごうで炊いたご飯も大鍋で煮たカレーも最高の出来栄でした。

地元のろう石を使った勾玉細工は、時間の経つのも忘れ、体操服を真っ白にしながらやすりで削る作業に没頭しました。時間をかけて仕上げた作品は研修の思い出の一つになりました。

研修の最後は、国宝に指定されている講堂で論語を唱えました。講師の先生の後に続いて大きな声で唱和し、生徒の気持ちが一つになった時間でした。

日頃から仲の良い学年集団です。自分の役割を果たすだけでなく、お互いに助け合う姿がとてさわやかでした。この素晴



しい集団の1人1人が持つ力に、いっそう磨きをかけていきたいと考えています。

中学校

むらまると研究所通信 Vol.10

「む labo」がグランドオープンしました。

7月16日(土)にむらまると研究所は、企業や研究者の活動の場、および村民の方々とテクノロジーが会う場として活動拠点施設「む labo(むらぼ)」を村内にオープンしました。

みなさまとともにグランドオープンを迎えたいと考え、オープン当日は村民の方々による企画等イベントの開催を予定しておりましたが、コロナ感染拡大防止の観点から、一部のオンライン企画を除き中止とさせて頂きました。みなさまにお越し頂けない状況となったことは残念でありましたが、当日開催したオンライン企画では、企業とのプロジェクトの活動報告および対談を行いました。協働する企業や研究員の方々と、改めてむらまるとで取り組むプロジェクトを紹介したり、今後の展望について深める良い時間となりました。今後も、今回のような機会を設け、活動内容の周知につなげていきたいと考えております。



イベントは中止となったものの、施設は無事にグランドオープンし、今後はシェアオフィスやシェアリビング、シェアキッチン、むらの工作室といったスペースを村民の皆様にもご利用頂けます。(詳細のご利用方法につきましては今後 HP・広報等に掲載予定です。)今後ともむらまるとと活動拠点「む labo」をよろしくお願い致します。

【お知らせ】

①「一人乗り小型電気自動車の貸し出し開始！」

8月10日から小型電気自動車「コムス」を「む labo」および「あわくら温泉駅(智頭急行)」に設置します。村民の皆様無料で利用いただけますので、お気軽にご利用ください。

なお、利用にあたっては事前予約が必要です。下記からお問い合わせください。

電話番号：090-4109-6500

Eメール：muramaruken+mobility@gmail.com

②「8月27日(土)オープンデー開催！」

今後も毎月1回、村民の企画が集まるオープンデーイベントを開催します。お気軽にお立ち寄りください。

一般財団法人西栗倉むらまると研究所

特色ある教育通信

6月25日、あわくらみらいアカデミーで「寿司づくり」を実施しました。



講師として料理人の工藤英良氏をお招きしました。「味の外交官」公邸料理人として10年に渡り海外で世界各国の賓客に和食を提供されてきた方です。また、外務省漁業室の藤原稔久氏とオンラインで繋ぎ、「日本のおさかな外交」をテーマにお話しいただきました。お二人のお話と工藤さんの「お寿司で世界のひととつながる」という言葉に子どもたちも俄然やる気に。調理は酢飯を作るところからスタートし、ネタもアジを捌いて自分たちで作っていました。はじめての子もいましたが、誰一人ギブアップせず、やり切りました。



教育コーディネーター

今井晴菜

負けの出来栄の子も。感想では、「てきとうに魚をさばいていたので、ちゃんとさばきかたをみることでできて発見でした。」「いがいとアジさばけるやん。」などといった寿司の作り方の他にも、「すしをつくることで外国の人とコミュニケーションなどがなかったからへーって思った。」など、寿司づくりを通して世界を見てみるという視点や気づきがあったようでした。

脱炭素先行地域計画

2030年までにCO2排出の実質ゼロを目指す

全体構想

脱炭素先行地域

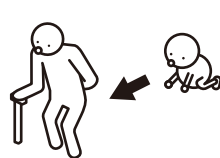
「脱炭素先行地域」というのは、2030年までに民生部門の電力消費によるCO2排出実質ゼロ（排出する量と、吸収する量を均衡させること）を目指す地域のことです。

第1回目は、西栗倉村を含む26件が選定されました。それを受け、西栗倉村では今後5年間で、公共施設や観光施設、村営住宅などへの、太陽光発電の導入や、電気自動車の導入、新電力会社の設立などを予定しています。

これらの計画を実施することで、村の生活やエネルギー利用がどう変化するのかわを今月の特集記事にしてお伝えいたします。

これまでも、西栗倉村は脱炭素に関するさまざまな先進的な取り組みを行ってきました。「百年の森林事業」、「環境モデル都市」、「バイオマス産業都市」、「分散型エネルギーインフラプロジェクト」などの取り組みにより、2019年には「SDGs未来都市（モデル事業都市）」にも選出されています。それらに伴って、村内のCO2排出量削減にも下表のように一定の成果が現れています。

脱炭素の取り組みに伴い、さらに上質な田舎になります！ 生きるを楽しむ西栗倉村～Well-being～



健康に生きる

誕生から最後までデータを蓄積し、健康管理と適正な医療・福祉サービスを推進



便利に生きる

スマホで簡単に予約ができる便利な交通手段が使えるようになる



安心して生きる

電気自動車や蓄電池の導入推進により、災害時でも安定した電力・エネルギーを確保



自然豊かに生きる

脱炭素や生物多様性保全に最適となるよう森林価値を高める

脱炭素の取り組みに伴い、期待される効果

- 建物や断熱や省エネにより、教育・福祉施設の環境改善
- 百年の森林事業により、美しい環境の維持や土砂崩れ等災害の発生を低減
- 再エネ発電による収益等により地域ビジネス創出を推進
- 電気自動車や小型移動手段の利用により、移動手段の利便性を向上
- 電気エネルギーの見える化で快適で健康な暮らしの実現

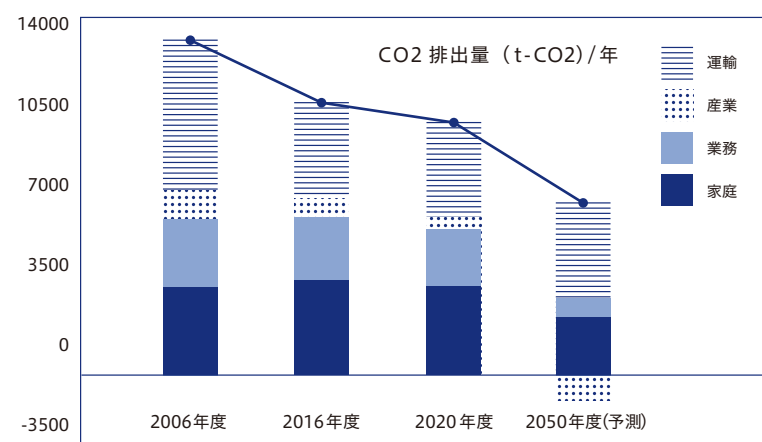
実施スケジュール

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	…2030年度
【施設群】公共施設群、観光施設群、木材加工・バイオマス施設群					
屋根置き太陽光＋蓄電池					
	地中熱		小風力		
ZEB/ZEH（建物で消費するエネルギーの収支0を目指すこと）					
	真空遮熱ガラス				
		LED照明			
		高効率機器			
	バイオマスボイラー				
電気自動車、グリーンスローモビリティ（時速20キロ未満の電気自動車）の導入					
【住宅エリア】しごと・くらし応援住宅エリア、別府住宅エリア、中土居エリア					
		屋根置き太陽光＋蓄電池			
		ZEB/ZEH			
		真空遮熱ガラス			
高効率機器買い替え促進					
エリア全体					
百年の森林構想（CO2吸収／固定化）					
新電力整備／稼働	地域新電力事業による住宅エリア、公共施設への電力供給				
検討	データプラットフォーム事業（CO2排出量の見える化）				
百年の森林構想（乾燥パークの活用）	バイオマスボイラー稼働				

2030年までに目指す 地域脱炭素の姿

村では、脱炭素先行地域として、以下の3つのことを目標として計画しています。

①「生きるを楽しむ」（well-being）



村内部門別CO2排出量の変化

① 排出実質ゼロに向けた取り組みを生活に根付かせ、より上質な田舎の実現を目指す。

② 地域内で電力を作り、地域内で電力を利用できる地域新電力会社を設立し、電力を有効利用することで、循環社会の実現を目指す。

③ 村内で生産された余剰再生エネルギーを他地域へ供給・売電することで他地域のCO2排出実質ゼロへも貢献する状態を目指す。

脱炭素先行地域における 取り組み

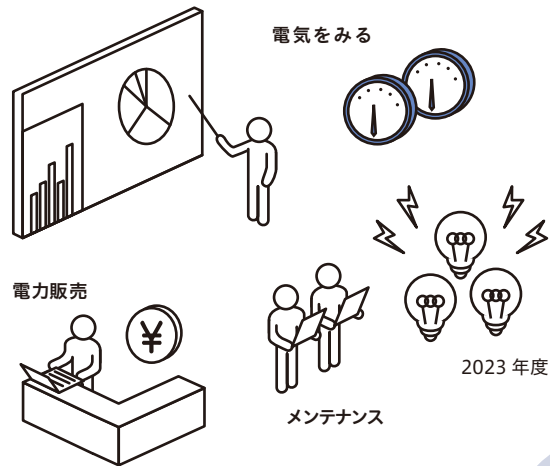
対象とする村内の施設とエリア

（1）公共施設群、観光施設群、木材加工・バイオマス施設群

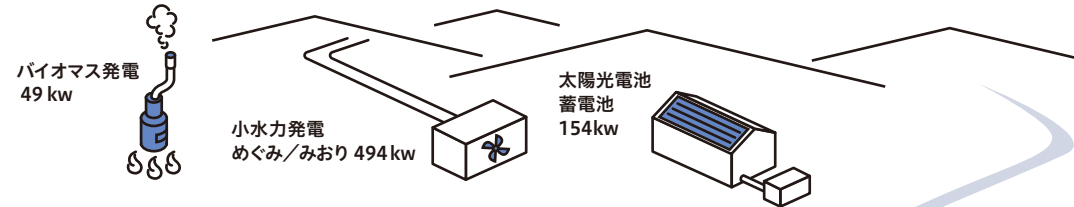
（2）しごと・くらし応援住宅エリア、村営住宅エリア

地域新電力事業社

エネルギーマネジメントシステム設備
2022～2023 年度
通信インフラ整備と各施設にセンサー設置



電気を売る！

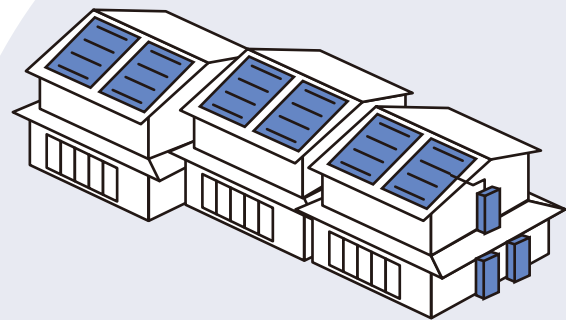


これまでの発電所

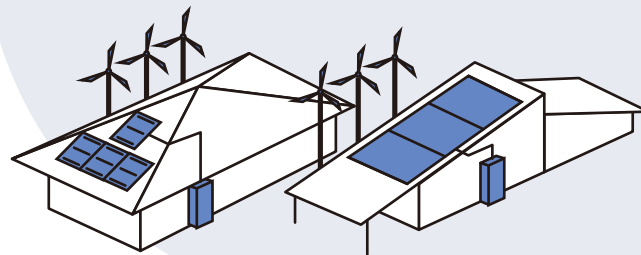
電気を作る！

電気を使う！

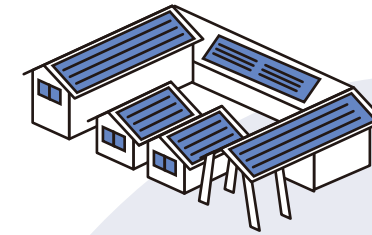
2 村内公共施設群、観光施設群、木材加工・バイオマス施設群



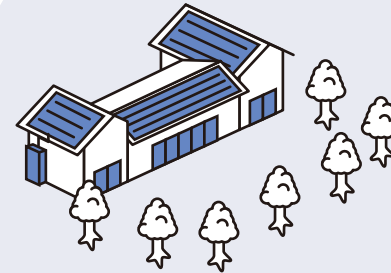
あわくら会館
2025 年度 太陽光設備 (90kw)・蓄電設備 (90kw) / 充放電設備



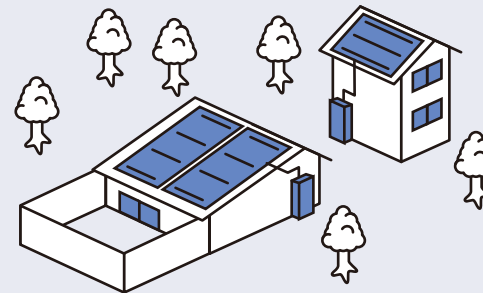
あわくらんど
2025 年度 太陽光設備 (45kw)・蓄電設備 (90kw) / 風力発電設備 (45kw)
旬の里
2025 年度 太陽光設備 (50kw)・蓄電設備 (90kw) / 風力発電設備 (45kw)



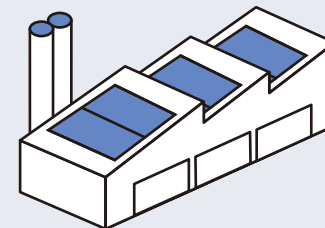
西栗倉保育園
2025 年度 太陽光設備 (30kw)・蓄電設備 (30kw)



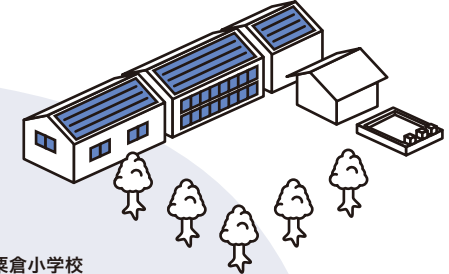
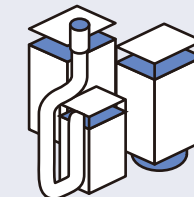
西栗倉幼稚園
2025 年度 太陽光設備 (25kw)・蓄電設備 (30kw) / LED 照明 / 真空遮熱ガラス



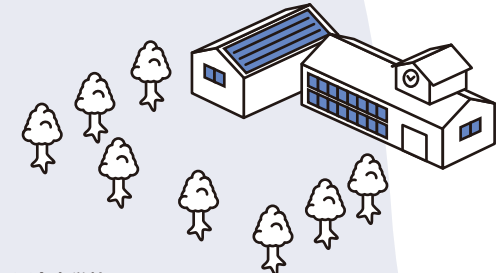
西栗倉村新宿泊施設 (ホテル)
2023 年度 太陽光設備 (50kw)・蓄電設備 (150kw)



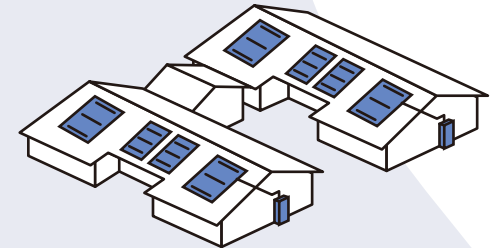
(株) 西栗倉・森の学校製造所
2022 年度 太陽光設備 (112kw) 整備補助



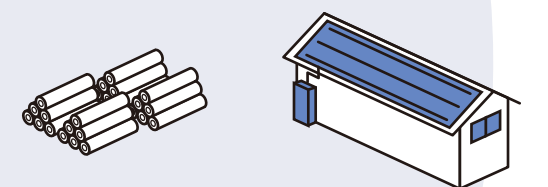
西栗倉小学校
2023 年度 地中熱利用設備 (冷房)
2024 年度 太陽光設備 (80kw)・蓄電設備 (90kw) / 高効率空調設備 / 真空遮熱ガラス / LED 照明 / 充放電設備



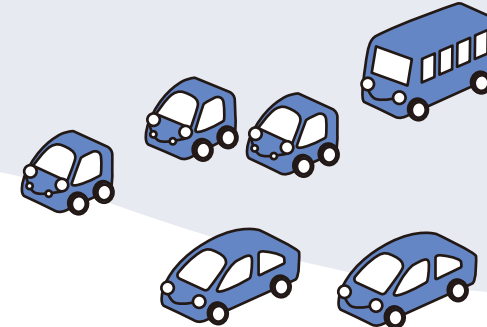
西栗倉中学校
2023 年度 地中熱利用設備 (冷房)
2024 年度 太陽光設備 (45kw)・蓄電設備 (60kw) / 高効率空調設備 / 真空遮熱ガラス / LED 照明



国保総合保険施設いきいきふれあいセンター
2023 年度 地中熱利用設備 (冷房) / 真空遮熱ガラス
2024 年度 太陽光設備 (25kw)・蓄電設備 (30kw) / LED 照明 / 充放電設備
高齢者生活福祉センターゆうゆうハウス
2023 年度 地中熱利用設備 (冷房) / 真空遮熱ガラス
2025 年度 太陽光設備 (60kw)・蓄電設備 (75kw) / LED 照明



西栗倉村林産物需要拡大施設
2022 年度 太陽光設備 (25kw)・蓄電設備 (30kw)
チップ乾燥施設
2022 年度 太陽光設備 (7kw)・蓄電設備 (7kw)
2023 年度 チップ乾燥用バイオマスボイラ整備

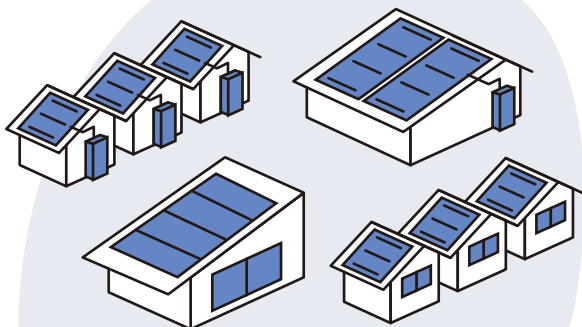


小型モビリティ購入
2022～2026 年度
コムス等の購入 10 台
電気自動車購入
2023～2026 年度
電気自動車への更新 4 台



西栗倉村構造改善センター
2023 年度 太陽光設備 (20kw)・蓄電設備 (20kw) / 真空遮熱ガラス / 充放電設備

1 しごと・くらし応援住宅エリア、村営住宅エリア



しごと・くらし応援住宅
2024 年度 太陽光設備 (3kw)・蓄電設備 (kw) / 真空遮熱ガラス
中土居住宅
2025 年度 太陽光設備 (3kw)・蓄電設備 (kw) / 真空遮熱ガラス
別府住宅
2026 年度 太陽光設備 (3kw)・蓄電設備 (kw) / 真空遮熱ガラス
教職員住宅
2026 年度 太陽光設備 (14kw)・蓄電設備 (30kw) / 真空遮熱ガラス

令和4年度「高齢者肺炎球菌」定期予防接種について

この予防接種は、肺炎球菌による気管支炎や肺炎、敗血症などを予防するためのものです。
予防接種法に基づく令和4年度高齢者の肺炎球菌定期予防接種の対象者は、次のとおりです。
※対象の方には、個別に案内（非課税世帯・生活保護世帯の方は案内と助成券）を発送します。

対象者

- ・令和4年度中に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる方
- ・令和4年度中に60歳から65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器・免疫機能のいずれかに日常生活が極度に制限される程度の障害を有する方

※既に肺炎球菌ワクチン（ニューモバックスNP）を接種した方は、原則、対象外です。

■西栗倉村と契約のある下記医療機関（令和4年7月12日現在）で接種できます

岡山県内すべての医療機関

岡山県外の医療機関

・国民健康保険 智頭病院

・医療法人社団一葉会 佐用共立病院

・鳥取市立病院

・医療法人社団 岡本医院

・医療法人聖医会 佐用中央病院

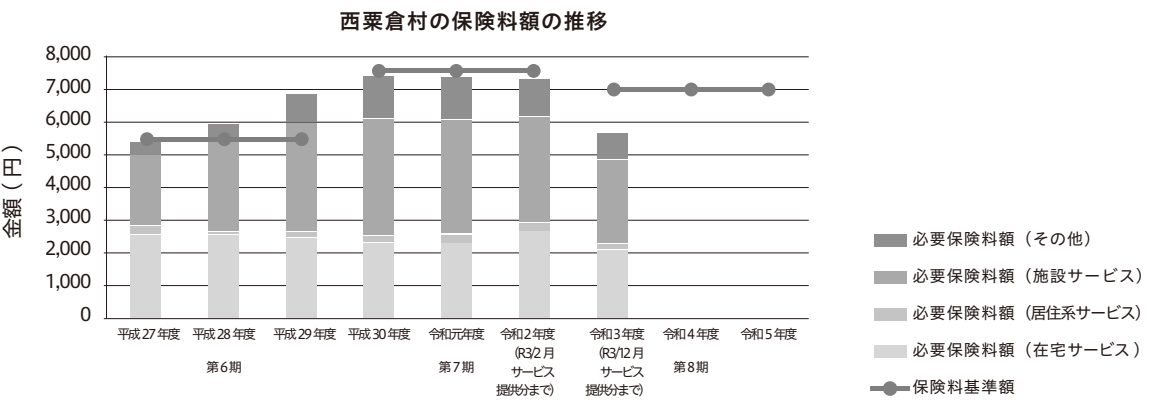
・医療法人社団 みどりの会 酒井病院

※上記以外の県外医療機関で接種する場合、契約の必要があるため、接種の1週間以上前に保健福祉課までご連絡ください。

保健福祉課 79-2233

村の介護保険の「今」 – これからの介護保険料 –

介護保険料は、介護サービスの利用量に大きく影響されています。
過去10年間の介護サービスにかかる費用は、毎年右肩上がりで増加してきており、それに伴ってその一部を担う介護保険料も徐々に引き上げられてきました。しかし、昨年度から今年度にかけて、施設入所者の減少などにより、介護サービスにかかる費用が減少してきており、その結果、現在は、必要とされる保険料額も減少してきていることが分かりました（下記参照）。介護保険料は3年に一度見直しがあり、次の見直しは令和6年度になります。あと約2年間にどれだけの介護サービスが必要とされるかで、次期の介護保険料が決まります。保健福祉課では、引き続き、皆さんが少しでも元気に過ごせるようお手伝いしていきますので、どうぞご協力をよろしくお願いします。



保健福祉課 79-2233

新型コロナワクチンの4回目集団接種について

西栗倉村では、令和4年3月23日までに3回目接種が完了した60歳以上の方を対象に集団接種を実施します。対象の方には、すでに4回目の接種券を送付しています。接種券に同封または後日送付の案内をご確認ください。

※接種券到着時には、まだ接種ができない場合もございます。個別接種の際には、接種可能日（3回目接種から5ヵ月以上）にご注意ください。

※18歳以上で基礎疾患をお持ちの方、医療従事者・高齢者施設等従事者の方については、申出を受け接種券を送付しています。集団接種を受ける際は、事前予約をお願いします。

【66歳以上の方】
地区ごとに日時を指定しています。

接種券に同封の案内で接種日時を確認してください。
指定日時が都合の悪い方のみ、保健福祉課までご連絡下さい。
（保健福祉課：0868-79-2233）

【60～65歳の方】
必ず8月23日(火)までにインターネットでの予約をお願いします。
予約方法については、接種券に同封の案内をご確認ください。

なお、地区割の日程・時間については、接種券に同封の案内や文字放送でもお知らせしています。

対象者	接種予約（予約方法）	接種日予定	接種方法・場所
66歳以上の方	【予約不要】 指定の日時に都合の悪い方のみ保健福祉課まで連絡下さい。	【指定の日程】 8月24日（水） 8月25日（木） 8月26日（金）	いきいきふれあいセンター
60～65歳の方 基礎疾患者 医療従事者 高齢者施設等従事者	【ネット予約】 8月23日（火）まで 	【予約可能日時】 8月26日（金） 午後1時30分～ 午後2時30分～ 午後3時30分～	いきいきふれあいセンター

※待ち時間の短縮及び3密を避けるため、できるだけ指定の日時での接種にご協力ください。

保健福祉課 79-2233

【力を入れてほしいこと（複数回答）】

	自然環境の保全	山林の管理・保全	上下水道の整備	情報基盤の充実	インターネットなどへの取り組み	脱炭素もしくは再生可能エネルギーの取り組み	農業の振興	伝統的な産業の支援・復活	新しい産業おこしや起業の支援	移動手段の充実	乗合バスの巡回など	買い物支援の充実	道路網の整備	村営住宅の提供や改修	施設の整備	公園やスポーツ	学校教育の充実
全体（382人）	57.1	54.2	36.1	37.2	38.7	43.2	25.9	31.4	55.5	46.1	20.9	29.8	30.4	40.1			
ずっと村民（197人）	52.8	50.8	32.5	31.0	32.5	38.1	24.9	26.4	55.8	42.1	18.8	24.4	23.9	33.5			
Ｕターン（81人）	69.1	61.7	44.4	39.5	46.9	54.3	29.6	40.7	63.0	51.9	27.2	34.6	37.0	48.1			
Ｊターン（19人）	68.4	57.9	36.8	42.1	52.6	68.4	26.3	21.1	57.9	36.8	21.1	21.1	42.1	63.2			
Ｉターン（58人）	51.7	53.4	27.6	48.3	46.6	32.8	22.4	39.7	41.4	51.7	12.1	41.4	39.7	48.3			
	救急医療体制の充実	保健・医療施設や児童福祉や子育て支援の充実	高齢者福祉サービスの向上	高齢者福祉サービスの強化	道路の除排雪の強化	雪下ろしや敷地周りの雪処理の強化	防災対策の強化	集落活動への支援の充実	Ｕターンの促進	Ｉターンの促進	観光・交流活動の促進	村の資源を活かしたの向上	行政情報見える化	その他（具体的に）			
全体（382人）	53.1	40.1	50.5	44.8	35.1	36.4	36.4	22.5	35.1	25.7	36.1	33.8	1.0				
どれにも当てはまらない（197人）	54.3	35.0	51.8	48.7	33.5	37.6	35.0	22.3	26.4	19.8	31.5	29.9	1.0				
Ｕターン（81人）	59.3	46.9	60.5	50.6	49.4	42.0	42.0	27.2	49.4	34.6	43.2	43.2	0.0				
Ｊターン（19人）	47.4	52.6	57.9	36.8	21.1	36.8	52.6	21.1	42.1	31.6	47.4	47.4	0.0				
Ｉターン（58人）	46.6	50.0	34.5	29.3	24.1	25.9	27.6	13.8	48.3	31.0	43.1	31.0	1.7				

【テーマ２：年代別で、村のことをどういう情報源で知るか】

西栗倉村内の出来事や取り組みをどこで知なのかについて、役場からの情報が上位を占めており、山陽新聞が続いています。年齢別にみると、若い人たちは情報源が少ないこと、F a c e b o o kやネットニュース、友人からのＳＮＳ投稿で情報を得ていることがわかりました。

【村のことをどこで知るか（主な選択肢）】

	広報にしあわくら	役場からの放送（午後8時）	西栗倉村の文字放送	山陽新聞	地区の放送	広報の折り込みチラシ	新聞折り込みチラシ	家のポストに入っているチラシ	西栗倉村のホームページ	WEBのニュース等の	友人・知人から流れてくるSNSの情報	全国紙	西栗倉村のF a c e b o o kページ	学校や園からのお知らせ	あわくら会館の掲出ポスター
全体（382人）	76.7	57.3	56.0	46.3	41.4	35.1	26.4	24.1	21.7	19.4	19.4	14.9	12.3	11.8	11.3
～34歳（32人）	59.4	34.4	9.4	12.5	6.3	31.3	6.3	15.6	12.5	25.0	31.3	0.0	15.6	12.5	9.4
35～49歳（80人）	76.3	45.0	31.3	28.8	26.3	35.0	10.0	13.8	27.5	25.0	36.3	12.5	27.5	33.8	25.0
50～64歳（88人）	79.5	55.7	54.5	44.3	43.2	29.5	20.5	20.5	31.8	28.4	12.5	21.6	11.4	5.7	8.0
65～79歳（132人）	75.0	64.4	77.3	60.6	56.1	36.4	36.4	30.3	16.7	15.2	14.4	15.2	6.1	6.1	8.3
80歳以上（50人）	88.0	76.0	72.0	62.0	46.0	44.0	50.0	36.0	14.0	2.0	10.0	16.0	4.0	2.0	4.0

ここに掲載したもの以外の集計結果は、今後村のホームページに掲載する予定です。また、今年度も「生きるを楽しむ」住民アンケートを引き続き実施します。この他に、皆さんの暮らしの満足度等について、国の指標に基づいたアンケート実施の要請がきています。村民の皆さんの負担をできるだけ減らす形での実施を検討しています。ご協力よろしくお願いします。

西栗倉村「生きるを楽しむ」アンケート集計結果（その２）

前月広報紙では、村民アンケートの中から、幸福度得点の平均が全国平均と比べて高いこと、村の魅力は「水・空気・お米」の割合が高かったこと、地域集落の課題は今より 10 年後の方が心配だという意見が多いこと、村に特に力を入れてほしいことは、森林・自然の保全と移動手段の確保をはじめとする高齢者の暮らしにかかわること、「生きるを楽しむ」に共感をしている人は約 6 割ということをお伝えしました。また、村民の中で LINE(ライン) を使ってコミュニケーションしている人は 67.8%と 3 人に 2 人以上いることもわかりました。

今回は、Ｕターンの方々や、ここ 10 年ほどで数が増えてきている、Ｉターン（移住者）の想いなど、また、年齢による違いなどを村民アンケート結果から紹介します。

【テーマ１：ＵターンやＩターンの村への想い】

今回のアンケート調査では、ＵターンやＩターンなどの人たちをこのように定義しました。

- ◆Ｕターンとは、西栗倉から大学進学や就職を機に県外に 5 年以上暮らした後、西栗倉に戻ることに。
- ◆Ｊターンとは、西栗倉の周辺地域から大学進学や就職を機に県外に 5 年以上暮らした後、西栗倉に住むことに。
- ◆Ｉターンとは、就職や転職を機に、自身の故郷にはない要素を求めて西栗倉に移住すること。

●地域住民が協力して取り組むべきものだと思うことについては、その他を除く 12 の項目のうち 8 つの項目で Ｉターンが全体と比べて 10 ポイント以上高い回答でした。また、地区での共同作業についても参加したいという回答が 75.8%で、全体の 61.5%よりも高く、地域とのかかわりについて様々な分野で積極的に参加したいと考えていることがわかりました。

【地域住民が協力して取り組むべきものだと思うこと（複数回答）】

	地域のお祭りや行事	食材のやり取りなど	日常生活の協力体制（宅配便の預かりや食材のやり取りなど）	（自然災害時の見回りなど）消防・防災対策	高齢者の見守りや支え合い（ゴミ出しや雪かき等）	安全や防犯への取り組み	（草刈りやごみ拾い等）地域美化活動	地域住民の生きがい（役割）づくり	世代間の交流	送迎の支援	住民同士の移動・学習の援助	子どもの見守りや居場所づくり	おとなへの支え合い	障がいのある子どもや	その他（具体的に）	無回答
全体（382人）	53.4	23.8	59.7	58.6	50.5	49.5	24.9	28.3	24.6	12.6	33.2	31.7	0.8	9.4		
ずっと村民（197人）	47.2	23.9	59.4	57.9	48.7	44.2	22.3	27.4	22.8	10.2	29.4	26.4	0.5	9.6		
Ｕターン（81人）	61.7	19.8	63.0	64.2	54.3	59.3	24.7	30.9	28.4	14.8	34.6	40.7	0.0	7.4		
Ｊターン（19人）	57.9	21.1	63.2	47.4	57.9	52.6	31.6	15.8	42.1	0.0	36.8	26.3	5.3	10.5		
Ｉターン（58人）	67.2	36.2	62.1	67.2	53.4	65.5	36.2	41.4	19.0	25.9	53.4	43.1	0.0	3.4		

●村が力を入れてほしいこと（前月号 20 ページ参照）を Ｕターンや Ｉターンなどで分析したところ、全体と比べて 5 ポイント以上高い項目は、その他を除く 26 項目のうち、 Ｉターンが 10 項目、 Ｊターンが 11 項目であるのに対し、 Ｕターンは 20 項目もあり、特に Ｕターンの方の値が高いことがわかりました。 Ｕターンの方は、西栗倉のこともよく知り、さらに村外での暮らしを経て戻ってきたことから、村が力を入れてほしいことが、村にずっと住み続ける村民よりよりたくさん見えている様子がわかりました。

おしえて年金

～国民年金保険料の免除期間・納付猶予期間がある方へ～

国民年金保険料の追納をおすすめします！

免除または納付猶予の承認を受けた期間がある場合は、保険料を全額納付したときに比べ、将来受け取る年金額が少なくなります。将来受け取る年金額を補うために、10年以内であれば、後から保険料を納めることができます。

申請方法、申請書等は、日本年金機構のホームページ（<https://www.nenkin.go.jp>）に掲載しております。ご不明な点等ありましたら年金事務所にお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少している方へ

令和3年1月以降に収入が減少した場合、引き続き令和4年度（令和4年7月から令和5年6月まで）以降も国民年金保険料の臨時特例免除を希望される方は、再度申請が必要となりますので、忘れずに申請をお願いします。

津山年金事務所 0868-31-2360

スポーツ・レク祭りを開催しました！

（教育委員会・保健福祉課・スポーツ推進委員会より）

6月25日（土）に小学校体育館にて、スポーツ・レク祭りを開催し、自分の体力を知る“体力測定”と、誰もが楽しめる“体験ブース”を行いました。

“体力測定”でしっかり身体を動かしつつ、“体験ブース”で、歩き方のくせがわかる「歩き方測定」、ボールを使って楽しく運動に親しむ「子ども運動能力向上教室」、体を芯から鍛える「体幹教室」等がありました。参加された方から「参加して良かった」「またやってみたい」など感想をいただき、運動に親しむ機会となりました。

体力測定



子ども運動能力向上教室



キンボール体験会

6月25日（土）に、西栗倉小学校体育館にて、“キンボール体験会”を行いました。小中学生を中心に、集まったメンバーで4人1チームをつくり、「オムニキン」のかけ声とともに大きなボールを飛ばしてはキャッチ、キャッチしては飛ばす！ボールの大きさや軌道に翻弄されながらも、全員で楽しく体験することができました。11月にも体験会を開催しますので、興味のある方は参加下さい。



平和を、仕事にする 陸・海・空 自衛官募集

募集種目と受付期間

- ・自衛官候補生（年間通じて応募可）
- ・防衛医科大学校 看護学科生（10月5日〆切）
- ・一般曹候補生（9月5日〆切）
- ・防衛医科大学校 医学科学生（10月12日〆切）
- ・航空学生（9月8日〆切）
- ・防衛大学校学生（一般）（10月26日〆切）

※ 応募資格・試験日等詳しくは問合わせ先へご連絡ください。尚、自衛官募集に伴う説明会を個別に行っております。

メール：tsuyama-okayama.pco@rct.gsdf.mod.go.jp

問い合わせ先：自衛隊岡山地方協力隊本部津山出張所 0868-22-5637

俳句

あわくら俳句教室 七月句会

選者 乾 北星

「兼題」

雷

涼し

自由題

吾子一人二十一時の銀河濃し
甚平を着てくつろげる夕餉かな
雲の峰残照映える高きかな
夫逝くや郭公はげし山の寺
グラジオラス一番咲きはやはり紅
バリバリと異次元世界稲光り
涼風や川音ひびく散歩道
夜涼の灯故郷の街を思ひ出し

宮本竜治
建元照子
小坂康子
小椋仁美
春名洋子
春名知子
乾名沙織
堀内希沙乃

選者吟

密と立つ

しぶいち地蔵夏深し

○次回は八月二十日（土）毎月第三土曜日の午後一時三〇分からあわくら会館で活動しています。丁寧に教えますので、初心者の方もぜひご参加下さい。

川柳

栗の実川柳社 令和四年七月句会から

「土産」

「七夕」

「自由吟」

山野草知らぬ野の草美しく
雑草も名前わかると親近感
行く先で皆につられて買う土産
まず願い星に祈ろう平和な世
夏の夜に揺れる風鈴音涼し
約束は元気でいよう又会おう
戦などしている間はない温暖化
日本列島地震コロナでつぶれそう

建元照子
堀内希沙乃
河野紀子
熊見まこ
河野孝子
清水早苗
井上吉男
西本栄子

人の動き

令和4年7月1日現在の動き

- 人口 1,369人 (-1)
- 男 648人 (0)
- 世帯 591戸 (0)
- 女 721人 (-1)

6月中の移動	
出生	2人
死亡	0人
転入	3人
転出	6人

亡くなられた方

白旗佐喜子様（中土居） 7月4日 87歳

善意の窓

令和4.6.11 ～ 令和4.7.25

- お悔やみ申し上げます 中土居 白旗 武憲様 母 佐喜子様 香典返し
- お大事にしてください 塩谷 矢代 英二様 ご本人 退院内祝
- 中土居 白岩 さゆり様 ご本人 退院内祝

お知らせ

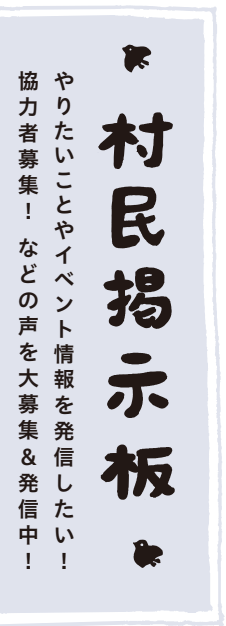
「広報にしあわくら」についての意見・要望、ご自身のやっていること・やりたいことを紹介したい、協力者募集等々どなたでもお気軽に投稿してください。村内企業限定で求人情報も掲載します。

【投稿方法】

- ・PCから…
西栗倉村役場ホームページにアクセス→画面上「お問い合わせ」→「村民掲示板」へ
- ・あわくら会館内（図書館受付）に設置してある掲示板用紙を投稿箱へ



◀ 村民掲示板ページQRコード



留意事項

毎月広報係が内容を精査し、掲載の可否を決定します。（15日頃までの投稿を次号へ掲載）事業性のある広告は一般チラシとして有料で折り込みを受け付けています。

黄金泉

大人700円→500円
小人500円→400円

元湯

大人500円→400円
小人250円→200円
（小学生未満無料）

黄金泉

大人700円→500円
小人500円→400円

元湯

大人500円→400円
小人250円→200円
（小学生未満無料）

黄金泉

大人700円→500円
小人500円→400円

元湯

大人500円→400円
小人250円→200円
（小学生未満無料）

黄金泉

大人700円→500円
小人500円→400円

元湯

大人500円→400円
小人250円→200円
（小学生未満無料）

黄金泉

大人700円→500円
小人500円→400円

元湯

大人500円→400円
小人250円→200円
（小学生未満無料）

社会福祉協議会より

5月号広報で社協の組織編成、村で果たしたい役割、行動指針などについてご報告しました。今月は今年度行う社協の事業内容をお知らせします。「人と人が支え合うことで、一人ひとりが本領発揮でき、最後までここで暮らすことが出来る」ように努めて参ります。

社協が行う10の事業

- 1. 介護予防につながる各種事業の運営
- 2. 外出支援事業の実施
- 3. 地域住民同士のつながりの支援
- 4. 住民が共に支え合うボランティア活動の推進
- 5. 高齢者が働き続けられる仕組みの整備
- 6. 社会福祉団体との連携
- 7. 福祉サービス等の利用支援
- 8. 法人運営体制の強化
- 9. 日本赤十字活動や共同募金運動の推進
- 10. 自然災害等への備え

村老連杯囲碁ボール大会

6月30日（木）に村老連囲碁ボール大会を開催しました。新型コロナウイルス感染症予防を行いながらの開催となりました。16チーム73名の参加があり、3密を避けるために、午前・午後の部に分かれて試合を行いました。

午前の部					
団体戦	優勝	ひまわり会	チーム	個人戦	優勝
準優勝	準優勝	筏津男組	チーム	準優勝	野々上 英男さん（下土居）
第3位	第3位	塩谷 ぼんぽこA	チーム	第3位	西本 勇さん（別府）
					青木 繁治さん（別府）
午後の部					
団体戦	優勝	志戸坂A	チーム	個人戦	優勝
準優勝	準優勝	さわやかA	チーム	準優勝	山根 隆三郎さん（大茅）
第3位	第3位	筏津レディース	チーム	第3位	青木 あや子さん（別府）
					上山 完治さん（大茅）



PICK UP!

令和4年度ソフトボールナイターリーグ大会



優勝：男塾
準優勝：もっくん
3位：スポ少
4位：大茅
お疲れさまでした！！

6月8日（水）から17日（金）までソフトボールナイターリーグを開催しました。今年度はスポ少チームを含め4チームの参加となりました。子どもたちは日ごろの練習の成果を発揮し、大人は日ごろの運動不足を感じさせない動きで、それぞれ楽しんでいました。

グラウンドゴルフ体験会



6月25日（土）に、西栗倉小学校グラウンドにて、“グラウンドゴルフ体験会”を行いました。体協のグラウンドゴルフ会員の皆さんが、参加した2名の方に、クラブの持ち方からルールまでを、こまやかに教えていました。

体験会の参加者とグラウンドゴルフ会員さんでゲームを楽しみ、最後のラウンドでは、「いい狙いのところにボールがいったで。」と声をかけられ「やった～！」と喜ぶ様子の体験者の方。皆さんで楽しく体験会を行うことができました。

令和4年度村民ゲートボール大会



優勝：長尾
準優勝：議会
3位：チーム・グリーン
4位：影石
お疲れさまでした！！

7月17日（日）に村民ゲートボール大会をコンベンションホールで開催しました。体協所属の5チームと議会チームの、合わせて6チームでの対戦となりました。体協チームは日ごろの練習の成果を出しながら、チームメンバーで助け合ったり協力し合ったりしながら、それぞれ楽しんでいました。

8/9	火		
10	水	<会館イベント> あたまイキイキ教室（P12）	
11	木	山の日 森の生き物調査し隊 9:30～12:30（あわくら会館集合）	可燃
12	金		かん
13	土		
14	日		
15	月	二十歳のつどい	可燃
16	火		
17	水	<会館イベント> 夏休み宿題お困り相談会（P12）	
18	木		可燃
19	金	あわくら大学	資源
20	土	<会館イベント>あわくら俳句教室（P12）	
21	日	<会館イベント> 放送大学岡山学習センター連携講座（P12）	
22	月		可燃
23	火		
24	水	川の生き物調査し隊 9:30～12:30（あわくら会館集合）	
25	木		可燃
26	金	<会館イベント> Nest カフェ（P12）	びん
27	土		
28	日	<会館イベント> やまと森の知らない世界 vol.13（P12）	
29	月		可燃
30	火		
31	水		
9/1	木		可燃
2	金	総合相談会 13:00～16:00	資源
3	土	<会館イベント> 読み聞かせの日（P12）	
4	日		
5	月		可燃
6	水		
7	木	小児科健診 12:30～	